

現地調査の実施状況

- ・ 3号機原子炉建屋

2024年3月12日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

3号機原子炉建屋内調査

(1) 目的

3号機原子炉建屋における水素爆発の影響を確認するとともに、梁の損傷箇所について前回調査時（2020年9月）からの変化の有無等を確認（※詳細は資料1-4にて提示）するとともに、スミア試料を採取する。

(2) 場所

3号機原子炉建屋

(3) 調査日

2024年3月1日

(4) 調査実施者

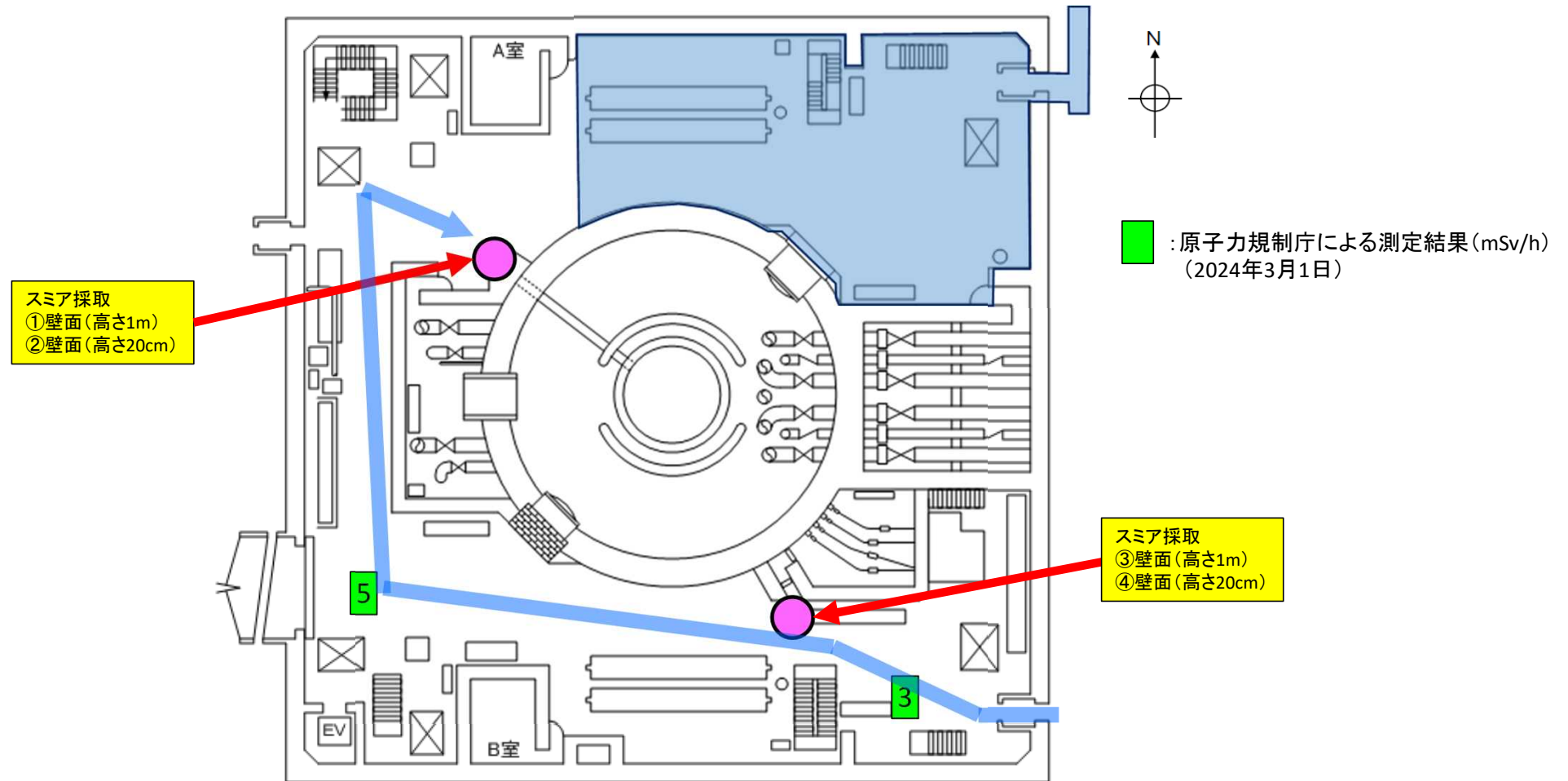
原子力規制庁職員 6名

(5) 被ばく線量

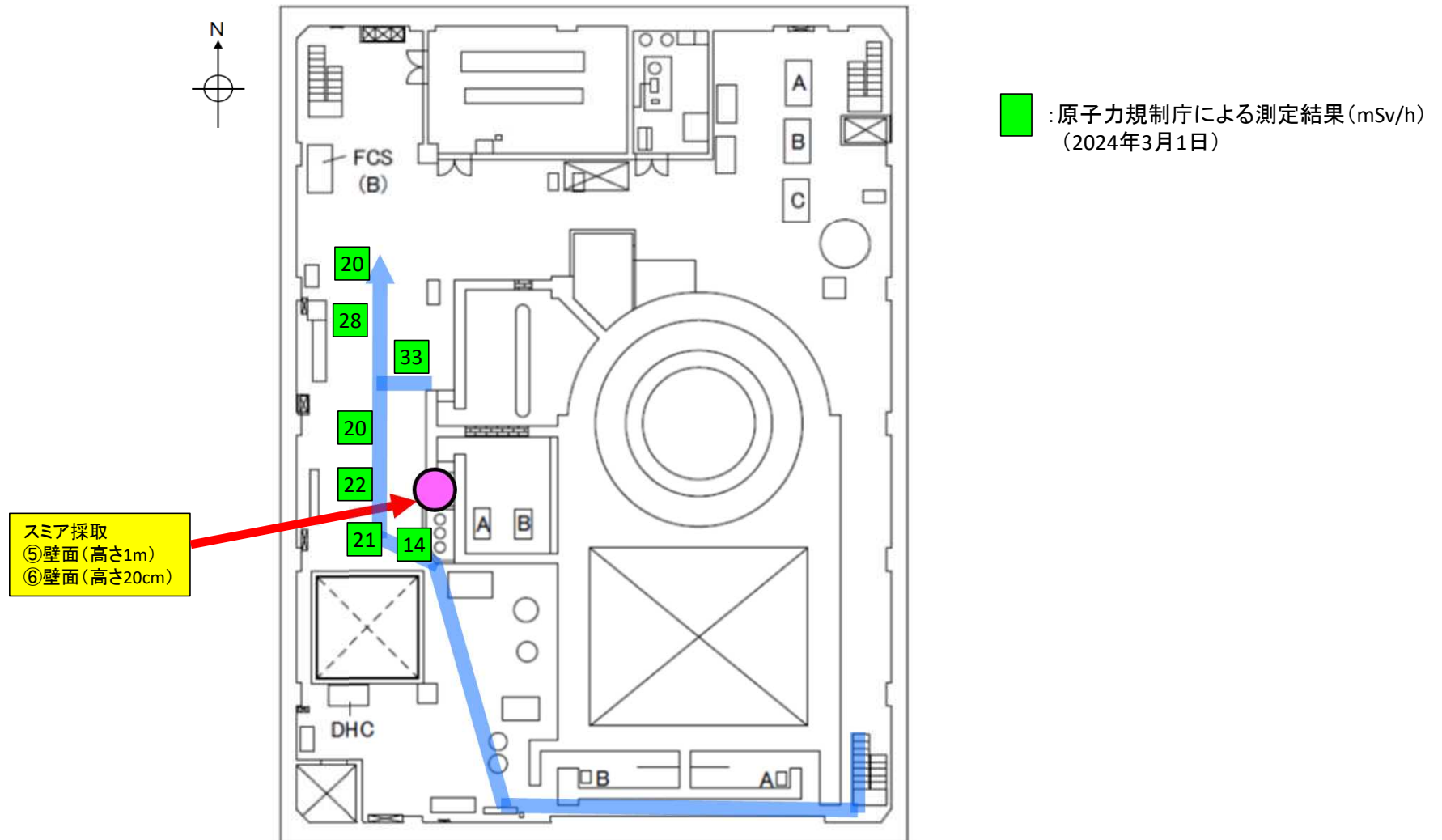
最大: 3.52 mSv、最小: 2.27 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

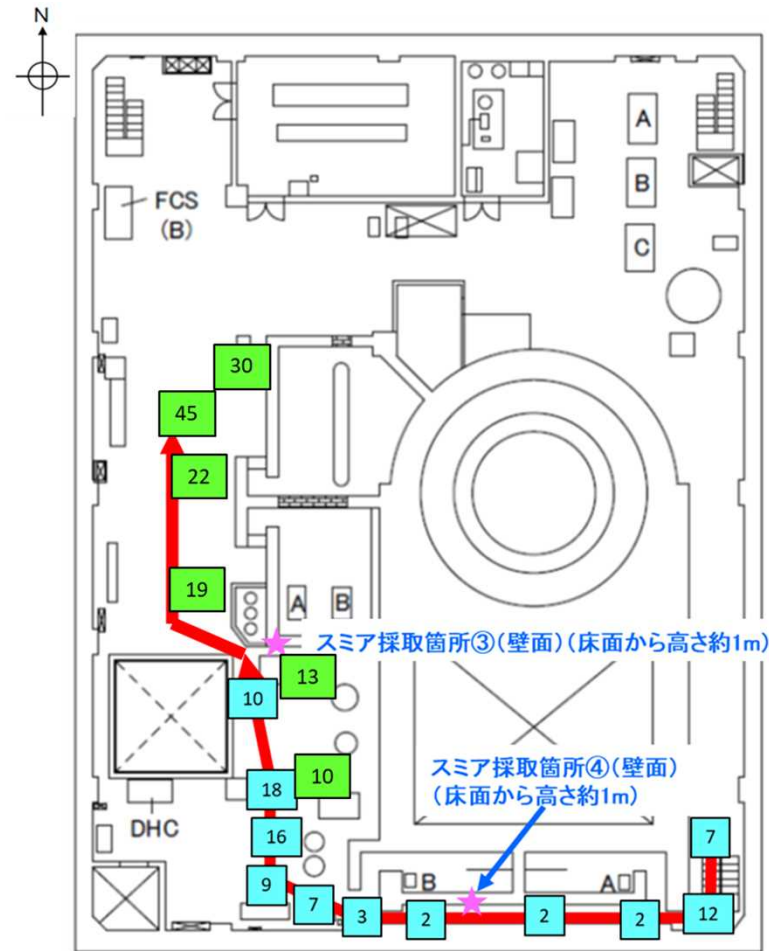
スミア採取箇所及び雰囲気線量率（3号機原子炉建屋1階）



スミア採取箇所及び雰囲気線量率（3号機原子炉建屋3階）



(参考) 過去の線量率測定結果等 (3号機原子炉建屋3階)



■ : (2020年9月)原子力規制庁による測定結果 (mSv/h)

■ : (2022年6月)原子力規制庁による測定結果 (mSv/h)